



カケハシ・プロジェクト（招へいプログラム） （アメリカ、高校生招へい（ジャパンボウル）陣）の記録

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として、米国より高校生24名が、8月3日～10日の7泊8日の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。地方自治体訪問、企業訪問、学校交流、ホームステイ等を通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験についてSNSを通じて对外発信を行いました。また、帰国前の報告会では訪日経験を活かした、帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

【参加国・人数】

アメリカ 24名

【訪問地】

東京都、広島県

2. 日程

- 8月3日（水） 成田国際空港より入国
- 8月4日（木） 広島県へ移動
 - 【最先端技術】 マツダミュージアム
 - 【歴史】 平和記念資料館/平和記念公園
- 8月5日（金） 【歴史伝統文化】 宮島/厳島神社
 - 【学校交流】 広島国際学院高等学校
 - 【ホームステイ】 対面式（熊野町）
- 8月6日（土） 【ホームステイ】 ホストファミリーとの活動（熊野町）
- 8月7日（日） 【ホームステイ】 ホストファミリーと書道体験/歓送会（熊野町）
東京へ移動
- 8月8日（月） 【歴史伝統文化】 浅草寺・仲見世
 - 【表敬】 高円宮妃殿下訪問
 - 【表敬】 要人表敬
 - レセプション・パーティ
- 8月9日（火） 【交流】 JBSG（ジャパンボウルサポーターズグループ）主催交流会
 - 【交流】 高円宮杯英語弁論大会参加者と明治神宮・原宿散策
- 8月10日（水） 報告会（訪日成果・帰国後の活動計画発表）
成田国際空港より出国

3. プログラム記録写真

東京都

	
8/8【歴史伝統文化】浅草寺 【History/Traditional】Sensoji-temple	8/8【表敬】高円宮妃殿下下訪問 【Courtesy Call】Her Imperial Highness Princess Takamado
	
8/9【交流】ジャパnbowlサポーターズグループ主催の青少年交流会 【 Interaction 】 Youth exchange program organized by JBSG (Japan Bowl Supporters Group)	8/9【交流】高円杯英語弁論大会参加者と明治神宮・原宿散策 【Interaction】 Walking tour around Meiji Jingu Shrine & Harajuku area with with the participants of the H. I. H. Prince Takamado Trophy English Oratorical Contest

広島県



8/4 【企業視察】 マツダミュージアム

【Company visit】 Mazda Museum



8/4 【視察】 広島平和記念公園

【Observation】 Hiroshima Peace Memorial Park



8/4 【視察】 宮島 / 厳島神社

【Observation】 Itsukushima Shrine, Miyajima



8/5 【学校交流】 広島国際学院高等学校

【School Exchange】 Hiroshima Kokusai Gakuen High School



8/6 【ホームステイ】

【Home Stay】



8/8 【文化体験】 筆の里工房

【Cultural Experience】 Fudeno Sato Kobo

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ アメリカ 高校生

KAKEHASHI Project のジャパンプール高校生招へいプログラムでは、数回の学生交流プログラム組み込まれておりとても充実したものでした。同年代の日本の学生と触れ合い、文化交流する機会は一生に一度の貴重な機会でした。国境を越え、過去や現在の考えに心を開き、日米の同年代若者同士が互いに楽しくリラックスした時を過ごしました。交流で知り合った友達とは今後も連絡を取り合い、築き上げた友情関係を続けていきます。

日本の大手自動車メーカーであるマツダ株式会社の視察や東京での庁舎訪問についても非常に感動しました。通常は外側からだとはほとんど見ることのできない日本企業や日本政府の日常業務等を垣間見ることができ感情が高ぶりました。

ホームステイは、滞在中で最も印象深く忘れられない経験です。心から歓迎して私を受け入れてくれ、まるで自分の家にいるような気持ちにさせてくれたホストファミリーの温かさにとっても感謝しています。広島で過ごした私の時間は、確実に最高の思い出の一つになりました。広島風お好み焼きを食べたこと、熊野町の筆の里工房での書道体験、ホストファミリーから私が受けた温かな感情は、二度と繰り返すことのできない経験と思います。

“大変お世話になりました。ありがとうございました。”

◆ アメリカ 高校生

学校交流時、日本と米国の自分の高校とを比較していました。剣道クラブの体験を通じて、自国のスポーツと日本の武道がいかに異なっているかが分かりました。また、学校でスリッパを履くことは日本特有の習慣ですが、学校を綺麗に保つために自分の学校も見習うべきだと感じました。

都内プログラムの訪問では、日本語で大使の一人と直接お話しすることができ、多種多様な公務の多さに驚きました。また、大使館の仕事を通して、政府が国民の為にどれだけ働いているかわかり敬意を表します。そしてより良い世界にするために国際関係が重要であると認識しました。

このプログラムで最も影響を受けたのはホームステイです。ホームステイ中、ホストファミリーから最高のおもてなしを受けました。また、米国のものとはかなり違う日本人のマナーや文化から多くを学びました。ホームステイ後に日本人に対する私の見方が変わり、ステレオタイプな考え方から抜け出すことができました。例えば、日本に落とされた原子爆弾についてホストファミリーと話をしましたが、彼らはアメリカ人に対して恨みを持ち続けることなく、この悲劇に強く立ち向かい克服し、私たちを温かく受け入れてくれました。

カケハシ・プロジェクトは、日本文化やマナーに関する私の考え方に大きなインパクトを与えたという点で、大変有意義な体験でした。

5. 受入れ側の感想

◆ 交流参加大学生

私たちも、普段接することのあまりないアメリカの高校生の皆さんとお話できる貴重な体験でした。日本語、英語と使って会話できるのも新鮮でした。高校生の皆さんも、積極的に私たちと話そうとしてくれましたし、日本に強く興味を抱いてくれていたのでたくさんのお話ができて、交流の時間があっという間に感じました。

◆ 交流参加大学生

外国の学生が日本のこういった部分に興味を持つのか、日本に対してどのようなイメージを抱いているのか等の情報が、実際に会話しながら伝わってくるので、今後外国の方々とお話する機会には、より有意義な会話ができそうです。印象的だったのは、明治神宮の参詣の際、案内する側の日本の学生よりも外国の学生の方が作法に詳しく、事前に、神社への参拝の仕方等の下調べをしていることが伝わってきて、こうした作法等に関する関心が高いことが分かりました。

◆ 交流参加大学生

明治神宮や原宿では、日本文化を紹介したり、日本について話したりする中で、自分自身も日本を再発見することができました。

改善点としては、当日、原宿のお店などもあまり詳しくなかったもので、高校生の興味をきいてから、限られた時間で、興味に合わせたコースを考えるのが難しかったことです。事前にグループの高校生の趣味や行きたいところのリストをいただいおくか、あらかじめまわるルートが決まっているとありがたいです。そのほうが、より思い出に残るご案内ができるのではないかと思います。

是非またこのような機会をいただけたら嬉しいです。ありがとうございました。

◆ 交流参加大学生

訪日団の皆さんがとても友好的で楽しく交流ができました。

うちわづくりでは特に一緒に会話を楽しんだりお互いのことを知ることができたりした上に日本の伝統的なものに触れることができよかったと思います。

原宿散策は特に楽しかったようで、続けてほしいと思いました。

入賞者が日本を訪れられるなんてとても素敵だと思い、JAPAN BOWL にとても魅力を感じています。また来年もぜひ参加させていただきたいです。

◆ ホストファミリー

8月6日の夜に皆で「灯籠流し」に行きました。広島にいてもなかなか機会がありませんでしたが、子供たちと一緒に、改めて平和について考える機会を持つことができました。有意義な機会をいただきありがとうございました。

◆ ホストファミリー

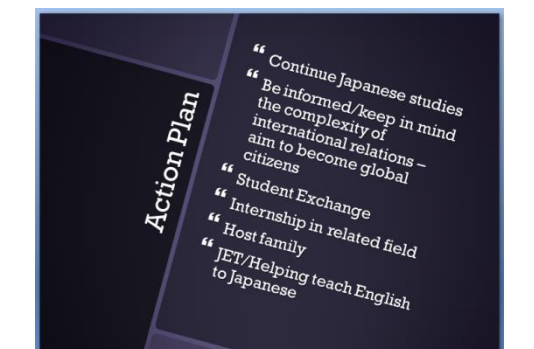
ホームステイの受け入れは初めてだったのでドキドキしていましたが、日本語で

ほとんど話ができることにはとてもびっくりしました。家族全員、ホームステイをしたことで、とても心があたたかくなり、充実した日々を送ることができありがたいと思っています。他国の方とこれからも交流を深め、日本の文化も海外の方に教えていけたらいいなと思いました。

6. 参加者の対外発信

 Through the arch you can see the top of the atomic bomb dome and the flame for peace, which will be extinguished when there are no longer any nuclear weapons on earth. #hiroshima #japan #akehashi	 The town where we did homestays is Kumano, which is where 70% of the calligraphy brushes in Japan are made. Here we are at the Fudenosato Kobo in Kumano experiencing calligraphy with their renowned brushes. Our host families came with us to help us out. #akehashi2016 #hiroshima #japan
アーチを通し見えるのは、原爆ドームと、平和の炎。地球に核兵器がなくなるとき、その火は消える。	ホームステイをした熊野町では、日本で作られる筆の 70%が作られている。ホストファミリーと一緒に「筆の里工房」の名高い筆で書道体験。
Through the arch you can see the top of the atomic bomb dome and the flame for peace, which will be extinguished when there are no longer any nuclear weapons on earth.	The town where we did homestays is Kumano, where 70% of the calligraphy brushes in Japan are made. Here we are at the Fudenosato Kobo in Kumano experiencing calligraphy with their renowned brushes. Our host families came with us to help us out.

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

	
原爆投下をした米国から来た私たちのこともやさしく歓迎してくれた。原爆についての日米の認識にはギャップがあることを知った。日本についてもっと知りたい人、日本をよく知らない米国の人々へ積極	今後も日本語の勉強を継続して、交換留学やホームステイの受け入れ、JETプログラムにチャレンジすることで、日本理解をさらに深める。また、そうした深い日本理解をもって、英

的に情報を提供して、日本をもっと訪れ体験してもらう機会につなげる。	語が苦手な日本人の英語学習を助ける。
Japanese people kindly welcomed us Americans, a country that attacked Japan by atomic bomb. I learned there is a gap of understanding about this atomic bomb between Japan and US. What I will do is share information and knowledge of Japan to help a better understanding for Americans that want to understand Japan better.	What we can do is to deepen our understanding of Japan by keep learning Japanese, joining the exchange program and JET program, and welcoming Japanese students by being a host family In addition, we also can help their English by making use of our better knowledge of Japan.